

(特非) パルシック

パレスチナ西岸地区北アシーラにおける 循環型社会のモデル形成事業

活動地域  パレスチナ



地域の学生への環境のワークショップ

課題

日常的なゴミ投棄が行われている地域において、ゴミ分別を通して環境意識を醸成し、有機ゴミを用いた堆肥づくりと有機農業、リサイクルを促進させ、循環型社会を形成する。

目標

パレスチナ西岸地域でゴミの分別による廃棄物の資源化が促進され、地域循環型社会が形成される。



今後の
展望

- 堆肥の製造量増加と現地の農業課題に合わせた品質改良
- 住民・行政・農家が協働しやすい仕組みづくりの強化と関係構築
- 資源ゴミリサイクル方法の確立

フロントランナー助成

3年目

実践

活動内容と成果

今年度は、事業参加住民に、自分たちの取組みがどのように町で循環しているかを再認識してもらい、さらにより多くの層の人々を事業に巻き込むことに力を入れた。堆肥の品質改良実験を行っている温室に地域の農家を招聘して生ゴミ堆肥の効果を実際に見てもらったり、ゴミ分別をしている住民と、温室で栽培した野菜と一緒に収穫したりした。新型コロナウイルス禍で活動延期となっていた公立学校でも、環境ワークショップを再開した。堆肥販売も徐々に軌道に乗り始め、町の外で本活動がモデル事業として紹介される機会もあった。



実験温室で育てた豆を分別参加住民と収穫

活動3年度生ゴミ堆肥の製造 **30** トン

地域内での生ゴミ堆肥の投入量 **32** トン

今年度計画の達成度 **75** %

目標達成度 **70** %

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

活動成果や課題が内輪に留まっていたため、一部の活動に遅れが生じたり、事業参加者から主体的な協力が得られにくい状況にあった。

■工夫した点

行政や農家、住民から具体的かつ事業を前進させる協力を得るため、活動を町中で周知する活動、話し合いの機会を繰り返し設けた。

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-7-11
東洋ビル
電話：03-3253-8990
E-mail：office@parcic.org
HP：http://www.parcic.org

